

鉄源状況について

2021年6月21日 草野産業株式会社

1

■目次：

<u>* スクラップ相場急騰要因</u>	P 3～12
急騰3要因	(P3)
東京製鐵（宇都宮・岡山）特級価格と輸出FAS価格推移	(P4)
東南・南西アジア 需要増	(P5-7)
中国輸入スクラップ解禁	(P8-10)
日本国内スクラップ発生低調	(P11-12)
<u>* 中国粗鋼生産状況</u>	P13～15
<u>* 今後の鑄造用スクラップについて</u>	P16～18
<u>* 鑄物用銑鉄：今後の価格見通し</u>	P 19～22

2

■スクラップ相場急騰要因

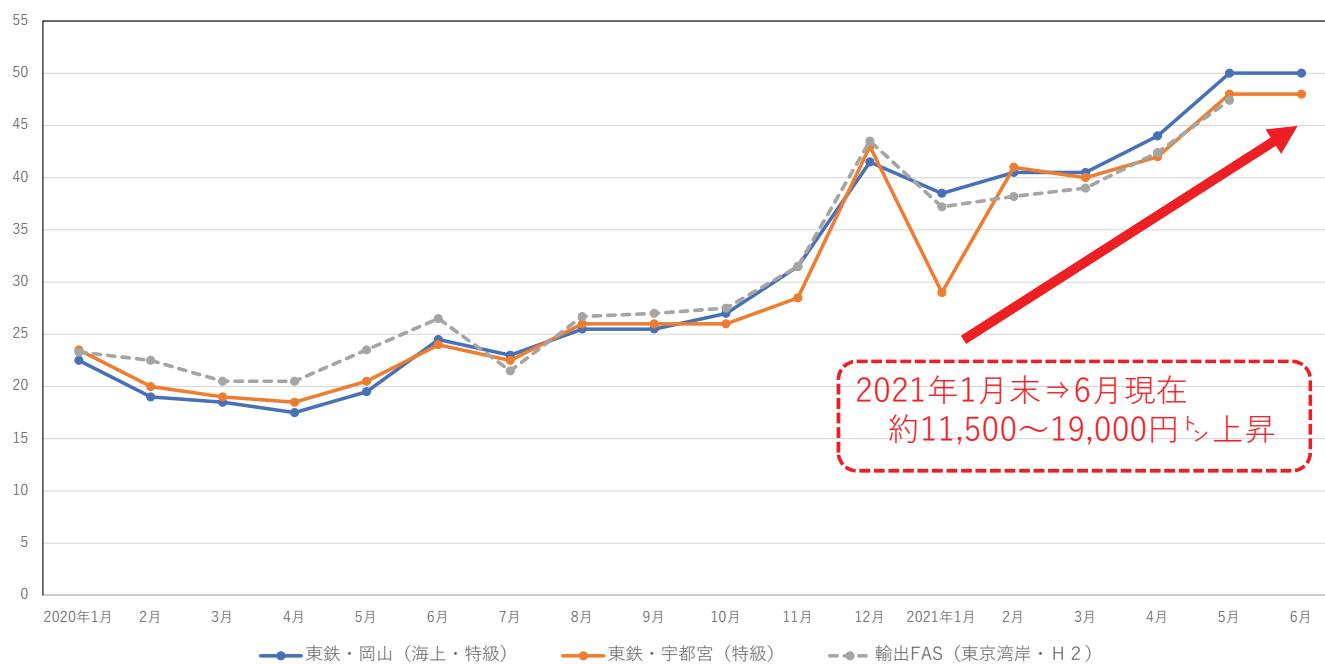
①東南・南西アジア 需要増

②中国輸入スクラップ解禁

③日本国内スクラップ発生低調

3

東京製鐵（宇都宮・岡山）特級価格と輸出F A S価格推移



2021年1月末⇒6月現在
約11,500～19,000円トシ上昇

4

■スクラップ相場高騰要因

①東南・南西アジア 需要増

②中国輸入スクラップ解禁

③日本国内スクラップ発生低調

5

①東南・南西アジア向け需要増

中国国内粗鋼生産減少方針（CO₂排出削減）により、半製品（スラブ・ブルームetc）を近隣諸国からの調達増で対応



鋼材の国際マーケットが急騰しているため、半製品価格も急騰

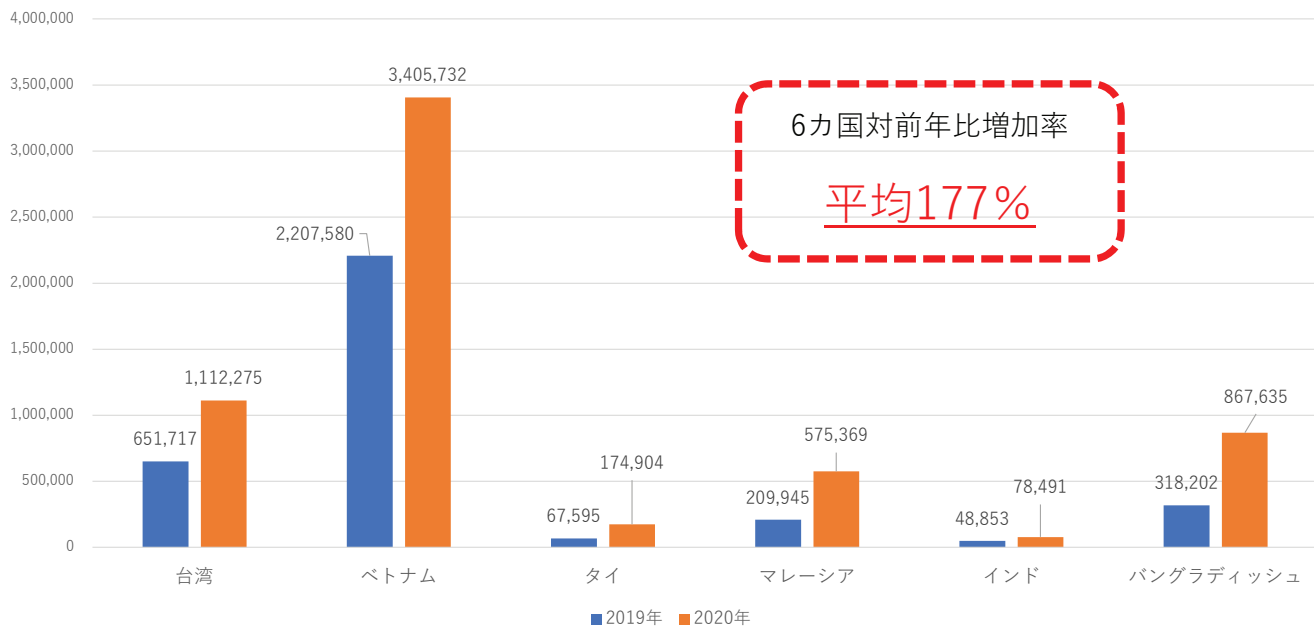


電気炉生産が主体の国で鉄スクラップ需要が急増

「需要増 = 価格高騰」

6

①日本 東南・南西アジア向け輸出スクラップ



7

■スクラップ相場高騰要因

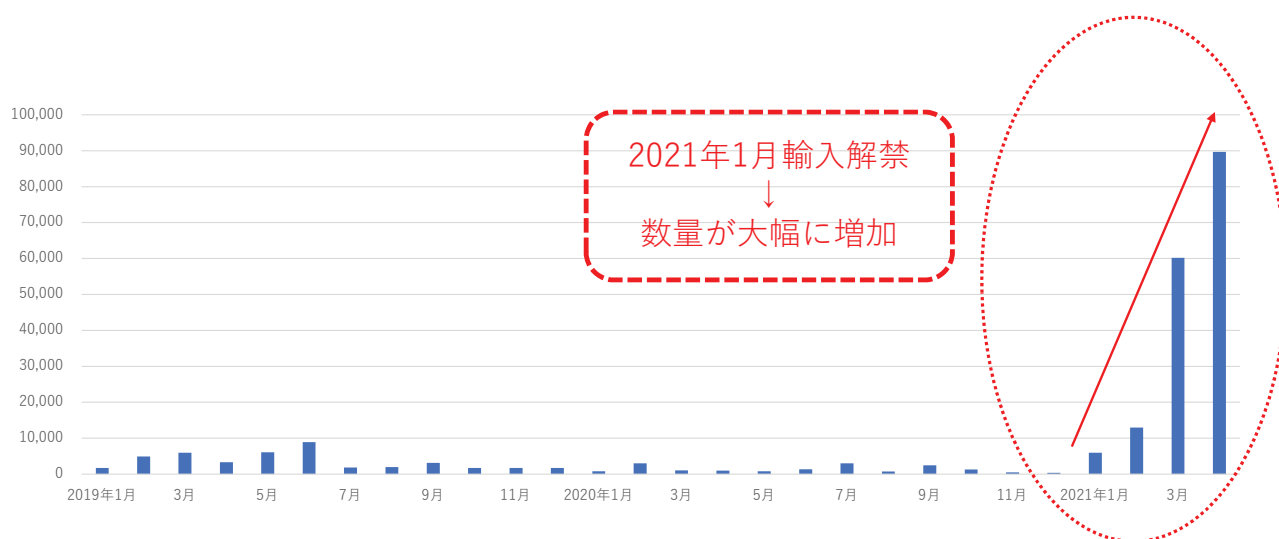
①東南・南西アジア 需要増

②中国輸入スクラップ解禁

③日本国内スクラップ発生低調

8

②日本 中国向け輸出スクラップ



9

② 中国輸入スクラップ状況

- 1) 2021年解禁後、日本国内業者は品質レベル・通関検査等が不透明であったため、低水準でスタート。
実態が見え始めた3月以降、大幅に数量が増加している。
- 2) CO₂排出削減
中国政府による粗鋼生産削減方針、電炉比率UP・鉄スクラップ消費増(鉄鉱石輸入減)
- 3) 今後、100万ト前後/月 = 1,200~1,500万ト/年まで輸入数量
増となる見込み。更に数量が増える可能性もある。
(世界の鉄スクラップ貿易量 = 約1億トン)
(輸出大国/年: 米国約1,500万ト、日本約800万ト)



日本に限らず国際マーケットに与える影響が如何に大きいか分かる

10

■スクラップ相場高騰要因

①東南・南西アジア 需要増

②中国輸入スクラップ解禁

③日本国内スクラップ発生低調

11

③日本国内スクラップ発生低調

1) 半導体不足による各種業種での生産調整実施

⇒工場発生品 = 「新断バラ」発生減

2) 造船業界受注低調

⇒「配合・可鍛コロ母材」発生減

3) コロナ禍による建築・公共関連工事の着手遅れ

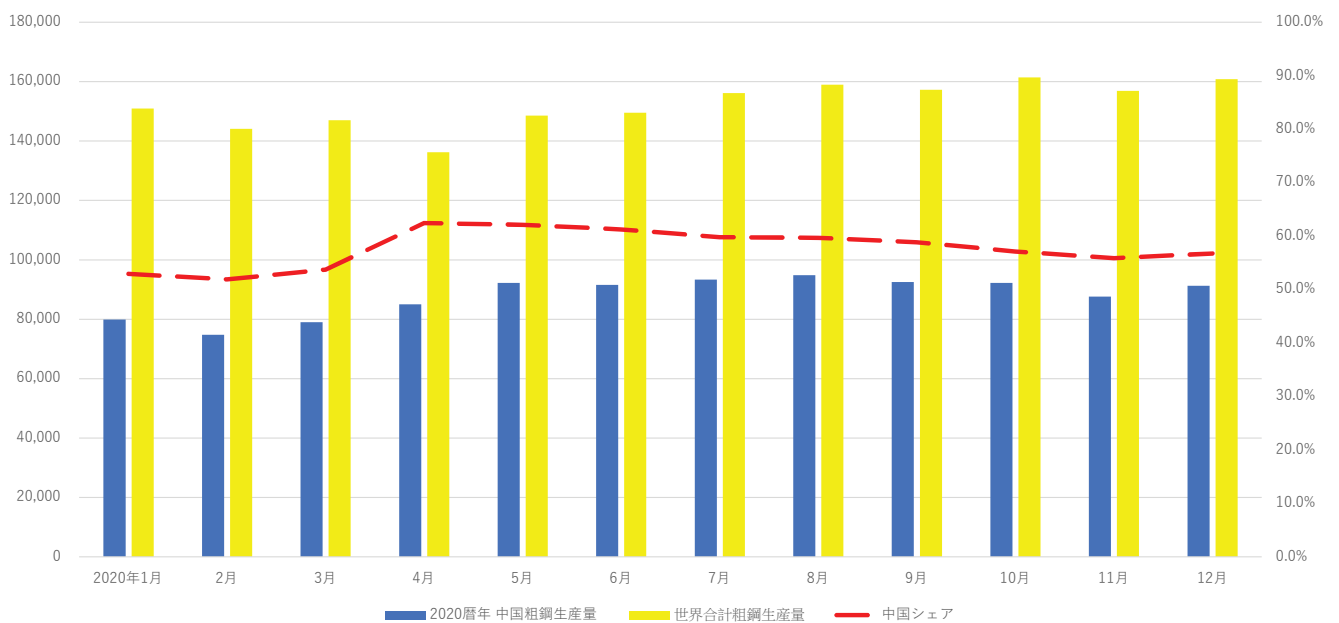
⇒「解体屑」発生減

12

■中国の粗鋼生産状況

13

2020暦年 中国粗鋼生産量



14

■ 中国：鉄鋼業生産置換方針

- ・ 2060年カーボンニュートラル達成に向け過剰生産能力を削減
- ・ 生産能力置換法による新規プロジェクトの場合、生産能力の置換比率（廃棄する生産設備と新規に建設する設備の生産能力比率）を大気汚染深刻地域は1.5：1.0、その他地域は1.25：1.0と定めている
- ・ 高炉を電炉に置き換える場合又は高炉を使用しない製鉄法への場合は1.0：1.0の比率で置換を認めている。
- ・ 2021年5月1日から鉄鋼製品146品目に対し輸出増値税還付を廃止、一方で鉄鋼製品20品目の輸入関税撤廃、5品目の輸出関税を引き上げを発表

・ 自国高炉生産削減 ・ 電炉生産比率向上 ・ 輸入調達品増加

15

■ 今後の鑄造用鉄スクラップについて

16

鑄造用スクラップへの影響

●中国の鉄スクラップ輸入による影響

⇒輸入対象品種は「上級屑（新断・配合（可鍛コロ）」主体

●中国国内粗鋼生産量削減により汎用鋼材・半製品輸入量増加

●高炉メーカー鉄スクラップ使用拡大方針

⇒CO₂排出量削減＝高炉粗鋼生産量減少

JFEスチール・・・2021年度より定期購入開始

日本製鉄・・・瀬戸内製鉄所広畑地区に2022年度上期
予定で大型電気炉稼動開始見込み

17

●上級屑＝鑄造用スクラップを主体に需要が高まることは確実

●高炉メーカー系列発生品のリターン化により、一般市中への流通量減少

●カーボンニュートラル取組みへの需要増から価格より品物確保重視での動きが主体になる



鑄造用スクラップの取引形態を見直す必要が考えられる
➤「価格変動方法」「受入規格（成分・荷姿・サイズ）」

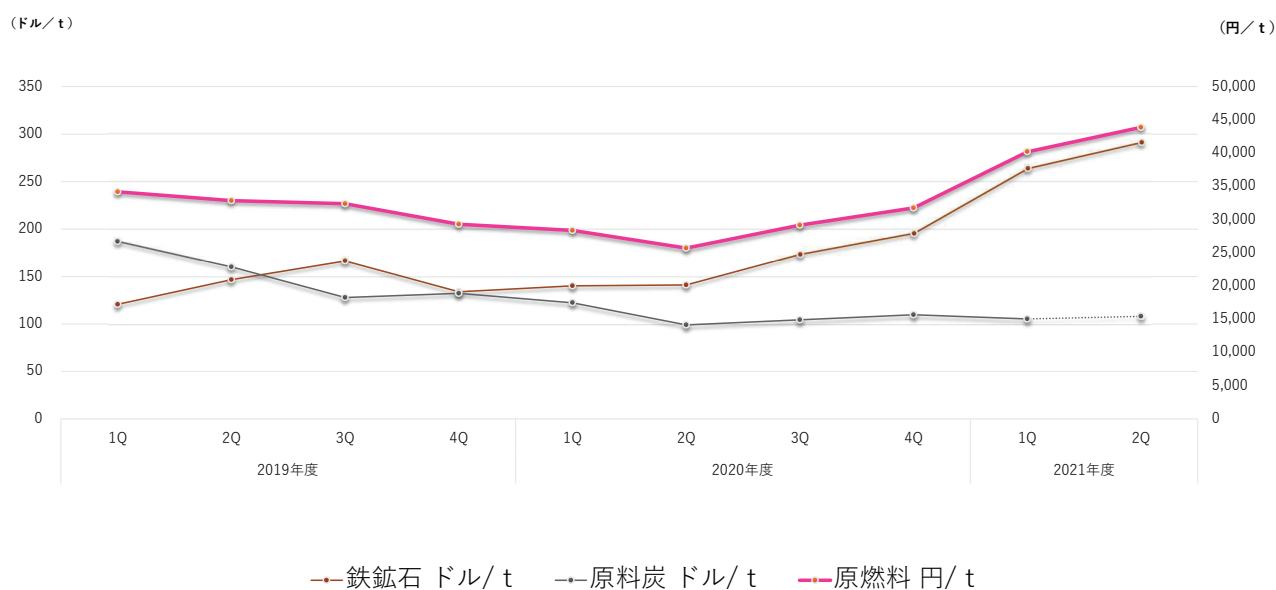
鑄造業界として需要家・流通一体になり対応策を検討する
必要性が出てくると予測

18

■ 鋳物用銑鉄：今後の価格見通し

19

原燃料（鉄鉱石・原料炭）価格推移



20

- ・鉄鉱石価格は世界的な需要回復を受けて上昇傾向で推移
→2021年度2Q（7-9月）価格は2020年度4月比約150%まで高騰
- ・原料炭価格は中豪経済摩擦の影響から、豪州産は横這い推移。
中国は代替品として米国産の輸入量を増やしている。
豪州産と米国産価格が大きく乖離し、二重価格の状態。
- ・足元、豪州産スポット価格\$170／tまで高騰している



“今後、価格改定（値上げ）となる可能性は非常に高い”

21

（その他市況）

■輸入鉄（ロシア産）：

- ・2021年4月通関統計では70,000／t台（FOB）まで価格高騰。
- ・中国、東南アジア、欧州、米国向けで日本向け価格以上のオファーが出ており、価格の面から品物確保が困難な状況。

■鋼材市況：

- ・国内高炉メーカーは薄板製品を5～7月に3ヶ月連続で値上発表
➤2020年度下期からの累計値上げ幅5.0～5.5万円／t

22

ご清聴ありがとうございました！！